

三朝温泉地における湯治者の実態 (第2報)

岡山大学医学部付属病院三朝分院内科

森 永 寛

(1976年7月26日受付)

I 三朝温泉における湯治者の概況

鳥取県三朝温泉(含放射能-ナトリウム-塩化物・炭酸水素泉)における湯治概況については、さきに昭和32年2月、杉山教授発表の調査表にもとづいて実施し報告した。

近時、平均余命の延長にともない高齢人口は増加し、また社会状況も異ってきた。たまたま、第44回日本温泉気候物理医学会のシンポジウムに「温泉地における湯治者の実態」がとりあげられ、筆者も演者の1人に選ばれ

たので、前回より20年後の三朝温泉地における湯治概況調査を前回と同一の様式によって行った。すなわち、昭和53年1~12月の間、三朝温泉地の1保養旅館に投宿した湯治者のうち、無作為に抽出した者について、昭和54年2月にアンケート用紙(表1)を送付し調査を行い前回の成績と比較することとした。今回の対象は130名であるが回収したのは75名(58%)であった。

1. 対象者の年齢は32才から86才にわたり、男子48名、女子27名で、男子の方が多かった。平均年齢は68±11才となった。60才以上が83%を占め、前回の56%に比

表 1.

昭和 年 月 日

温泉療養(湯治)調査表

氏名	男 女	才	職業	旅館名
住所	県	市	町	番地
来湯の目的	1. 病後 2. 病後保養	3. 静養 4. レクリエーション(農休み)	5. その他(詳しく)	
病気の種類	1. 胃疾患 2. 腸疾患 3. 肝臓病 4. 神経痛 5. リウマチ	6. 高血圧 7. 心臓病 8. 半身不随 9. 腎臓病 10. 肋膜炎	11. 肺浸潤 12. ぜんそく 13. 気管支炎 14. 婦人病 15. 外科的病気	16. 性病 17. 血液病 18. 皮膚病 19. その他
湯治の日数	月 日から 月 日まで	日間		
湯治の回数	1. 初めて 2. 回目	3. 前には	温泉 温泉	
入浴の回数	1日に 回	午前 回 午後 回	夜 回 夜中 回	
(お風呂) 飲泉	1. している 2. していない	しておれば	{ 1日 回のむ(1回 合) 入浴の度毎にのむ	
来湯の動機	1. 医師の指導で 2. まわりの人にすすめられて 3. 自分の経験で	4. 新聞雑誌をよんで 5. 知っている人が居るから 6. その他		
(お風呂) 効果	今の湯治で効果が	1. あった 2. ない	理由(
湯中	あった	{ 1. 食思不振(食がすまない) 2. 全身倦怠(だるい、こわい) 3. 便秘(大便が2,3日ない) 4. 下痢(1日 回位) 5. 腹痛(はらいた) 6. 皮膚炎(ただれ)	{ 7. 頭痛(あたまがいたい) 8. めまい 9. ねむれない 10. 患部再発(昔思った病気が悪くなった。いたくなった) 11. その他	
その他	1. 湯治に来てよかったと思うか 2. 来年も来たいと思うか			
皆さんの希望	今後旅館、治療相談医師、その他に希望することがら。			
備考	1. この調査は皆さんの湯治方法をどうしたらよいか、しらべるのですから、出来るだけ真面目に詳しく、記入して下さい。 2. 必ず自分がやっていること、又はやってきたことを書いて下さい。 3. 各項目の番号に○印又は.....のところに記入して下さい。 4. わからないところはいつでも聞いて下さい。			

表 2. 調 査 対 象

年齢	昭和32年				昭和54年				
	性別	男	女	計	男	女	計	%	
20-29才			4	4				4.7	
30-39		4	2	6	2		2	7.1	
40-49		4	5	9	2		2	10.6	
50-59		6	12	18	6	3	9	21.2	
60-69		11	12	23	12	15	27	27.1	
70-79		14	11	25	18	6	24	29.4	
80-89					8	3	11	32.0	
計		39	46	85	48	27	75	14.7	
平均年齢 58.7±14.6				68.0±11.3					
60才以上 : 56.5%				60才以上 : 82.7%					

表 3. 来 湯 回 数

回 数	昭32	昭54
はじめて	44.7%	32.0%
2	25.9	8.0
3	7.0	6.7
4	12.9	8.0
5	4.7	2.7
6	2.4	
10	1.2	9.3
毎 年	1.2	18.7
記 載 な し		14.7

表 5. 来 湯 動 機

動 機	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
医 師 の 指 導 で	15	18.3	6	8.0
人 の 話 で	31	37.8	38	50.7
自 分 の 経 験 で	28	34.2	25	33.3
新 聞 ・ 雑 誌 で	5	6.1	1	1.3
テ レ ビ で			3	4.0
そ の 他	3	3.6		
未 記 入			2	2.7
計	82		75	

表 4. 来 湯 目 的

目 的	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
病 気 治 療	54	65.0	25	33.3
病 後 保 養	11	13.3	7	9.3
静 養	16	19.3	26	34.7
レ ク リ エ ー シ ョ ン			9	12.0
そ の 他	2	2.4	1	1.3
未 記 入			7	9.3
計	83		75	

べ高齢者が多く、約10年、年齢が老齢化していた(表2)。

2. 来湯回数は初回のもの32%で前回より低かったが、他方10回以上、あるいは毎年と答えたものが28%を占

めていた(表3)。

3. 病気治療や病後休養を目的としたものは、前回の78%にくらべ43%と半減し、他方、静養、レクリエーションと答えたものが47%であった(表4)。
4. 来湯の動機は、従って医師の指導によると答えたものは8%で、前回よりすくなく、自分の経験や、人のすすめによるものが84%を占めていた(表5)。
5. 湯治日数は1週間以内のものが1/4、2週間以内の合計は72%となった。病気治療よりもむしろレクリエーションの割合が増えたことと関連し、滞在日数は減少したと考えられよう(表6)。
6. 1日の入浴回数は3回以下のものが44%を占め、平均1日3・7回の入浴を行っており、前回の平均4・5回よりほぼ1回減っていることとなる(表7)。このことは湯あたりの出現者の頻度が減つたことと関連があると考えられるし、また今回の対象は病気治療を

表 6. 湯 治 日 数

日 数	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
～ 7日	8	9.5	20	26.7
～14	35	41.6	34	45.3
～20	15	17.9	2	2.7
21～	26	31.0	10	13.3
未記入			9	12.0
計	84		75	

表 7. 1 日 の 入 浴 回 数

入浴回数	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
1回			2	2.7
2	6	7.1	6	8.2
3	14	16.6	24	32.9
4	26	31.0	23	31.5
5	22	26.2	13	17.8
6	10	11.9	4	5.5
7	2	2.4	1	1.4
8	2	2.4		
9	1	1.2		
10回以上	1	1.2		
計	84		73	
	平均:4.5回		平均3.7回	

表 9. 効果 について

効 果	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
あ っ た	54	63.5	59	78.7
な し	10	11.8	4	5.3
不 明	21	24.7	5	6.7
記入なし			7	9.3
計	85		75	

II 岡山大学附属病院三朝分院内科・入院患者の疾患別調査

昭和30年4月から、昭和33年3月までの3カ年間の入院患者数は517名で、疾患別に分類すると、消化器系の疾患が最も多く135名(26.1%)、ついで運動器系の疾患96名(19%)、呼吸器疾患75名(15%)の順であった。20年後の昭和51年4月から昭和54年3月までの3カ年間の入院患者数は386名で、最も多かったのは前回2位の運動器系の疾患の165名(43%)で、ついで消化器系の疾患、神経系の疾患の順となっている(表10)。すなわち、この20年間に増加したものはリウマチ性疾患で、ついで神経系および代謝系の疾患などであった。その内訳をくわしくみると、慢性関節リウマチは前回には年平均14～5名の入院しかみなかったものが、20年後の昨今は年間42～3名とほぼ3倍にふえ、糖尿病や痛風も倍増している。従って1名あたりの入院期間が長びき、入院症例の実数は減ったこととなる。運動器系の疾患や神経系の疾患で、温泉適応疾患を拾ってみると、昭和30年代のはじめは246/517=47.6%であったものが、20年後では271/386=70.2%と約1.5倍に増加したこととなる。温泉地にある三朝分院は、社会状況の変化・疾病構成の変貌などとあいまって、温泉適応疾患収容の方向へすすみつつあるものと考えられる。

表 8. 湯あたりの頻度

湯あたり	昭32		昭54	
	人数	%	人数	%
あ っ た	35	41.2	8	10.7
な し	31	36.4	52	69.3
不 明	19	22.4	15	20.0
計	85		75	

- ・湯あたり発現者の入浴回数 5.1回
- ・なし 4.1回

目的としない者が多いため、湯中り症状出現がすくなかったのであろう(表8)。

7. 効果ありとするものは79%であった(表9)。

表 10. 三朝分院内科入院患者の疾患の推移

	昭30. 4~ 33. 3		昭51. 4~ 54. 3	
そ の 他	89	17.2%	8	2.1%
代謝の疾患	15	2.9	30	7.8
泌尿器の疾患	29	5.6	11	2.8
循環器の疾患	33	6.4	15	3.9
神経系の疾患	45	8.7	64	16.6
呼吸器系の疾患	75	14.5	18	4.7
筋・骨格系および 結合組織の疾患	96	18.6	165	42.7
消化器系の疾患	135	26.1	75	19.4
	517		386	

表 11.

調査年 年齢	昭 52.1~12				昭 53.1~12			
	男	女	計	%	男	女	計	%
~ 9才					2		2	0.2
10-19	10	9	19	1.4				
20-29	6	11	17	1.2	11	5	16	1.7
30-39	6	11	20	1.5	10	10	20	2.1
40-49	39	31	70	5.3	30	29	59	6.1
50-59	56	102	158	11.99	52	76	128	13.3
60-69	215	256	471	35.76	152	143	295	30.7
70-79	257	214	471	35.76	176	160	336	34.9
80-89	63	28	91	6.9	72	32	104	10.8
90-					1	1	2	0.2
計	655	662	1317		504	458	962	
	平均：65.9才				平均：66.7才			

Ⅲ 次に昭和52年と昭和53年のそれぞれ1月から12月まで、三朝温泉地の1保養旅館の宿泊人員を宿帖を借用して調査した。昭和52年度の宿泊者は1317名で60才以上が78%を占め、男：女=1：1.01ではほぼ同数。昭和53年度は1280名、この中年齢の明記してある962名では60才以上が77%を占め、男：女=1：0.91となった。

すなわち、保養旅館は高齢者で占められており、平均

年齢は66~67才であった(表11)。なお3名以上のグループ旅行者が、昭和52年に79件、昭和53年に70件あった。

温泉を休養・保養に活用し、中高年齢者の健康づくりに応用しようとする日本健康開発財団による健康増進保養旅行が、昭和53年9~10月の間、三朝温泉地で試行せられた。参加者は28才から85才にわたる164名で、平均

表 12. 健康増進保養旅行参加者の年齢

年齢	昭 53.9~10			
	男	女	計	%
20-29才		1	1	0.6
30-39				
40-49	3	4	7	4.3
50-59	10	22	32	19.5
60-69	23	37	60	36.6
70-79	33	22	55	33.5
80-	6	3	9	5.5
計	75	89	164	

平均年齢 男：68.4±11.6才
女：64.2±10.8

表 13. 保養旅行参加者の診断成績

	件数	%
循環器	96	38.7
リウマチ・神経痛	47	18.9
代謝病	46	18.5
消化器	28	11.3
貧血	19	7.7
内分泌	5	2.0
神経系	3	1.2
呼吸器	3	1.2
健康	1	0.4
計	248	99.9

年齢は66±10才、60才以上が76%を占め、40~50才代は24%すなわち1/4未満であった。循環器系の疾患を有すると考えられるもの39%、糖尿病・痛風が19%、リウマチ性疾患が19%であった(表12, 13)。

文 献

涌谷卓伯・松本欣之・山本泰久(1959):三朝温泉に於ける湯治概況調査, 岡大温研報, 24, 80-85.

GENERAL SURVEY OF THE SPA TREATMENT AT MISASA SPA (2ND REPORT)

by Hiroshi MORINAGA. *Misasa Branch Hospital of Okayama University School of Medicine.*

Abstract: A general survey of the spa treatment at Misasa Spa carried out in February, 1979.

The informations the author has gathered may be summarized as follows:

1. The majority of spa visitors was over 60 years old.
2. 47% of spa visitors came to this hot spring for rest and recreation, 43% for the purpose of balneotherapy of chronic rheumatic disorders and after-care.
3. Those who visited Misasa Spa for the first time were 32%, the rest being those who visited this spa over 2 times.
4. The length of time they stay at Misasa Spa for recreation was under 7 days, and for curative treatment was for about 2 weeks.